

# 国連防災世界会議パブリック・フォーラム

2005年1月19日 14:00 ~ 17:00

会場: 神戸国際会議場 502会議室

## 中央防災会議

「災害教訓の継承に関する専門調査会」

主催シンポジウム

# 歴史災害の経験と知恵の継承

本シンポジウムは、日本列島が過去に経験してきた自然災害を科学の力で解き明かすとともに、歴史災害を経験した地域社会に語り継がれている事柄を発掘し、災害に強い社会を作るための知恵や、次世代に語り継ぐ方法を模索することを目的として開催します。

「話題提供」では、歴史災害を素材として、各研究分野の第一人者が、それぞれの専門領域における成果を解説・紹介し、問題提起を行います。

「パネル・ディスカッション」では、「話題提供」を踏まえ、さらに各パネリストの知見を紹介しつつ、次世代に引き継ぐべき知恵をそれぞれの立場から討議します。

プロローグ 14:00 ~ 14:10 (伊藤和明、平野啓子)

話題提供 14:10 ~ 15:25

- |                |                         |
|----------------|-------------------------|
| 「火山との共生」       | 荒牧重雄 (東京大学名誉教授)         |
| 「津波対策の今」       | 首藤伸夫 (岩手県立大学教授)         |
| 「頻発する土砂災害」     | 池谷 浩 (砂防地すべり技術センター専務理事) |
| 「地震考古学からわかること」 | 寒川 旭 (産業技術総合研究所主任研究員)   |
| 「語り～民間における伝承」  | 平野啓子 (語り部、かたりすと、キャスター)  |

パネル・ディスカッション 15:40 ~ 17:00

\*コーディネータ 伊藤和明

(中央防災会議「災害教訓の継承に関する専門調査会」座長)

- ・小山真人 (静岡大学教授: 富士山ハザードマップを次世代に活かす)
- ・山岡耕春 (東京大学地震研究所教授: 地震と津波)
- ・清水祥彦 (神田明神権禰宜: 江戸町人の地震対策、神社の力)
- ・槌田禎子 (テレビ長崎記者兼デスク: 災害情報とジャーナリズム)
- ・北原糸子 (神奈川大学非常勤講師、「災害教訓」小委員会座長: 歴史災害を現代に活かすには)

なお、順序等は変更される場合があります。

宛先： 内閣府(災害予防担当) 久津摩あて

TEL 03 - 3501 - 6996

FAX 03 - 3597 - 9091

国連防災世界会議パブリック・フォーラム  
「歴史災害の経験と知恵の継承」

2005年1月19日 14:00～17:00 会場:神戸国際会議場

参加申込書

ご芳名 【 \_\_\_\_\_ 】

所属 【 \_\_\_\_\_ 】

連絡先(e-mail or FAX) 【 \_\_\_\_\_ 】

\* お申込みが定員を超えた場合にのみご連絡させていただきます。  
本情報はシンポジウム参加登録用としてのみ利用し、他の目的で  
利用することは一切ありません。